

慰安婦への政府の対応についての意見書の白紙撤回を求める陳情書

要旨
平成21年12月に「慰安婦」問題について政府の誠実な対応を求める意見書を提出され、又、
平成25年6月に橋下徹大阪市長の「慰安婦に関する発言」等に対する決議が可決されて
ますが、これらの意見書と決議の白紙撤回を要求します。
理由
意見書の根拠となったと思われる、朝日新聞による所謂吉田証言は虚偽であったと確認され
た為、朝日新聞がその後関連する記事を全て取り消しており、更に政府による所謂河野談話
についても、事実に基づくものではなく韓国側の要求に従ったものであったとの調査結果
が為されており、それを証明するように韓国の大学教授複数による学術書でも、米国の
大学教授の書籍でも、所謂慰安婦は強制されたものではなく、自主的な売春であったと結論
されています。このような事実に基づく証拠があるにも関わらず、間違っただまの
意見書などが放置されている事は、市議会として無責任の極みと言われても仕方がないと
判断します。今一度、全市議会議員に直ちに意見書の白紙撤回を議論頂くよう強く要請
します。このままでは、皆さんの子供たちがこれを根拠に未来永劫虚偽をもとにした
謝罪を要求されることになることを認識して下さい。
尚、他の幾つか市議会では既に間違いに気づき、当該意見書や決議の白紙撤回を行ってます。